

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33505	インテリアエレメント Interior Element	村松 尚子	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
インテリアエレメントとはインテリア(室内)を構成する要素である。 私たちの住まいをより美しく暮らしやすい生活の場にするためには的確なエレメントの選択が欠かせない。 生活空間を豊かにするために必要なインテリアの基礎知識を習得する。						
学修内容			到達目標			
① 個々のライフスタイルに必要な要素は何かを学ぶ。 ② 知識を得ることが生活を豊かにすることを認識する。 ③ 自分の好みを分析し、他者に伝える方法を身に付ける。			① ライフスタイルに必要な要素を説明できる。 ② 自分の好みを知る ③ 自分の好みを表現し、説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修することができる。				
	働きかけ力	わからないときに相談することができる。				
	実行力	課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。				
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。				
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。				
	創造力	他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。				
	傾聴力	相手の話を素直に聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	予習、復習を行い、積極的に講義に参加することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。必要に応じて資料を配布する。 参考文献:授業内で適宜紹介していく。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:インテリアデザイン 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
プレゼンボードを作成するための材料費が1,000円程度必要。 普段から室内を意識して観察をする(予習、復習)と、楽しい発見があります。			普段から興味を持って生活空間を観察すること。 メジャーを持参すること。 ※初回授業にて説明をする。 予習、復習をすること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				・
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・人にわかりやすく伝える工夫ができる。 ・人前で発表する姿勢を考えて発表ができる。 ・成果発表の事前準備ができ、円滑に発表ができる。
		②		
		③	✓	
作品	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の好みを客観的に分析した作品である。 ・自己を表現する工夫ができる。 ・作品が完成されている。
		②	✓	
		③	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	<p>(主体性) 必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修をすることができる。</p> <p>(実行力) 課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。</p> <p>(課題発見力) 人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。</p> <p>(創造力) 他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。</p> <p>(発信力) 相手に伝える工夫をして発表できる。</p> <p>(傾聴力) 相手の話を素直に聞くことができる。</p> <p>(規律性) 予習、復習を行い、積極的に講義に参加することができる。</p>
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S : 成果発表において人を惹きつける発表ができる。 作品の完成度が高く、独創性がある。 よく観察をし、分析ができる。 予習、復習に積極的に取り組んでいる。</p> <p>A : 成果発表において人にわかりやすく伝えられる。 作品の完成度が高く丁寧に仕上げられている。 予習、復習に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>B : 成果発表において人に分かりやすく伝える工夫が感じられる。 作品の完成度が高い。 予習、復習ができている。</p> <p>C: 成果発表を人前で終えることができる。 作品を完成させている。 予習、復習ができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	インテリアエレメント画像説明、 関連資格の紹介、課題説明、 流通の基礎を学ぶ。	講義	流通のしくみを説明できる。	(復習)家にあるインテリアエレメントをリストアップする。	45	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	メジャーを用いて計測しながら 物の大きさを認識する。商品カ タログの読み方を学ぶ。	講義	カタログから商品の大きさを 検討することができる。	(予習)自宅のテーブルと椅子のサイズを測る。	45	主体性 実行力 規律性
3週 /	家具1 置き家具の種類、構造、構成 材料を学ぶ	講義	家具の種類について説明 することができる。	(復習)自宅にある家具の種類、 構造、構成を観察する。	45	主体性 傾聴力
4週 /	家具2 収納を考慮した造作家具、シ ステム家具の構成を学ぶ	講義	収納を考慮した家具を構 成することができる。	(予習)片付けの問題 点と解決策を検討する。	45	主体性 課題発 見力
5週 /	ウインドウトリートメント(窓装飾) 種類、機能性、スタイルを学ぶ	講義	ウインドウトリートメントの 種類、機能性、スタイルの 見識を持つことができる。	(復習)様々な建物の 窓装飾を観察する。	45	主体性 創造力 傾聴力
6週 /	照明器具 照明の分類と役割を学ぶ	講義	照明器具の分類と役割に ついて見識を持つことが できる。	(復習)様々な建物の 照明を観察する。	45	主体性 傾聴力
7週 /	内装仕上げ材1(床、建具) 床仕上げ材、建具の種類、性 能、機能を学ぶ	講義	床、建具の種類について 見識を持つことができる。	(復習) 様々な建物の の床仕上げ、建具を 観察する。	45	主体性 傾聴力
8週 /	内装仕上げ材2(壁、天井) 壁、天井仕上げ材の種類、性 能、機能を学ぶ	講義	壁、天井の仕上げ材の種 類について見識を持つこ とができる。	(復習)様々な建物の 壁、天井仕上げを観 察する。	45	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	住宅設備1(キッチン) キッチンの構成、スタイル、設備機器を学ぶ	講義	キッチンの構成について見識を持つことができる。	(予習)キッチンにある道具、家電製品、物をリストアップする。	45	主体性 創造力 傾聴力
10週 /	住宅設備2 キッチン以外の住宅設備機器の種類と性能、機能を学ぶ	講義	キッチン以外の住宅設備機器の種類について見識を持つことができる。	(予習)自宅の風呂、洗面台、トイレの機能を説明できるようにしておく。	45	主体性 課題発見力
11週 /	プレゼンボード作成実習の課題説明。インテリアエレメントの組み合わせ(コーディネート)について学ぶ。	講義	インテリアエレメントの組み合わせ方を検討することができる。	(予習)好きなインテリア空間の情報収集をする。	45	主体性 創造力 傾聴力
12週 /	プレゼンボード作成実習—1 インテリア商材を使用したカラーージュを作成する。	実習、作業中助言	自分の好みのスタイルを分析し表現することができる。	(予習)インテリア雑誌、カタログ、サンプルを集める。	45	主体性 創造力 実行力
13週 /	プレゼンボード作成実習—2 インテリア商材を使用したカラーージュを作成する。	実習、作業中助言	自分の好みのスタイルを分析し表現することができる。	(予習)インテリア雑誌、カタログ、サンプルを集める。	45	主体性 創造力 実行力
14週 /	プレゼンテーション 1 作品発表をする。	作品説明、講評	自分の作品を発表することで自己表現ができる。	(予習)作品発表ができるように準備をしておく。	90	主体性 発信力 傾聴力
15週 /	プレゼンテーション 2 作品発表をする。 授業内容を振り返る。	作品説明、講評	これまでの。	(復習)授業内容を振り返る。		主体性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力